

## H28年度 指定管理者導入施設 管理運営評価シート

### 1 評価対象施設の概要

施設名称	TAC井出山スポーツパーク		
所在地	生駒市小平尾町1766番地・956番地1・東山町201番地21		
指定管理者名	株式会社 東京アスレティッククラブ	指定期間	開始日 平成 27 年 4 月 1 日
利用料金制適用区分	利用料金制		終了日 平成 38 年 3 月 31 日
選定方法	公募	評価実施年	指定期間 10 年のうち 1 年目
設置目的	市民の体育及びレクリエーション、社会体育の振興など		
主な実施事業等	TAC井出山スポーツパーク（屋内温水プールきらめき・体育館・グラウンド・テニスコート）の維持管理・運営 屋内温水プールTACきらめきを活用した会員制スポーツクラブの会員や、公共施設としての都度利用者への各種サービスの提供		

### 2 利用実績

利用区分等	単位	予定(計画・目標)	利用実績	対前年度比	増減の理由等
きらめき（会員利用人数）	人	99787	93654	95.7%	会員数減少による利用減
きらめき（一般利用人数）	人	21124	19858	98.6%	成人の利用減少
体育館利用人数	人	15655	17452	74.3%	下期の利用団体の減少
グラウンド利用人数	人	11598	25088	140.6%	北大和野球場閉鎖による利用増
テニスコート利用人数	人	27376	66513	92.1%	

### 3 事業収支

		事業計画	事業報告（実績）	（参考）前年度実績
収入計	A	133260730	122333907	0
指定管理料		0	0	
利用料金収入	C	132049630	118070751	
自主事業収入		1211100	2942492	
その他		0	1320664	
支出計	B	133260730	121793549	0
指定事業費		103002820	98974843	
うち人件費	D	58192288	58192288	
うち再委託料	E	9334832	9494576	
自主事業費		30257910	22818706	
事業収支	A-B	0	540358	0
利用料金比率	C/A	0.990911801	0.965151477	
人件費比率	D/B	0.436679943	0.477794501	
再委託費比率	E/B	0.070049384	0.077956313	
補足説明（必要に応じて記入）				

※人件費(D)及び再委託料(E)は主な支出内訳のため、DとEの合計額が指定事業費にはなりません。

### 4 利用者の意見把握状況

利用者の意見把握の実施の有無	有	実施方法	利用者アンケート・意見箱の設置	その他（ ）
実施結果	意見内容等		対応実績等	
	①プールで使用するブルブイを販売してほしい。 ②子供用の腕につけるヘルパーを貸し出してほしい。 ③ランニングマシンのところに扇風機を設置してほしい。 ④トレーニングジムのみの利用ができる料金設定をしてほしい。 ⑤もっと重いダンベルを増やしてほしい。 ⑥ヨガのレッスンを増やしてほしい。		①・②貸出の物品を用意し、無料にて貸出を開始した。 ③即時用意 ④2年目からの提案事項であったため、平成28年4月より開始 ⑤平成28年4月に30kgまでのダンベルを設置完了 ⑥平成28年4月より新規クラス増設	

5 管理運営状況評価

施設の設置目的の達成（有効性）	
施設の目的や特性等に合致した管理運営（事業計画に則った管理運営、施設の有効活用による設置目的の達成等）	
指定管理者による自己評価	事業計画書記載事項はほぼ達成。ただ、利用者数の目標を達成できなかった。
市の評価	指定管理者として全国で数多くの施設の管理運営をされており、そのノウハウを活かしマニュアル化された適正な管理運営に努められた。また、応募時の事業計画書に則り、他の市内体育施設指定管理者とも調和を取りながら適切な管理運営がなされた。
市民の平等な利用の確保（平等な利用への配慮、公平で適切な利用者の決定等）	
指定管理者による自己評価	温水プールの開館日を拡大し、市民（会員）の利用機会が拡大できた。また、体育館やグラウンド、テニスコートについても、前指定管理者の運営方法を踏襲し、利用者へのサービスが低下しないように努めた。
市の評価	今期から指定管理者が変更になったことから、以前からの利用者に対しサービスを含む様々な面で課題の多い1年だったと思われるが、開館日の拡大をはじめ、障がい者のスイミング教室の開催など、市民への平等な利用が確保されたと考えている。
利用者の満足度（利用者の意見把握結果による満足度の状況、意見等に対する取組状況、苦情等に対する対応等）	
指定管理者による自己評価	ご意見箱を設置し、利用者の意見を反映したサービス（レッスン・教室内容）に変更した。また、設備面においても可能な限り利用者本位に改修を進め、大きなクレームのない1年となった。
市の評価	利用者の意見や問い合わせに対して、原則として全ての回答を翌月には施設内に掲示され、利用者本位の運営がなされている。また、TACきらめきの運営については、会員を対象とした特別なイベントなども開催されており、利用者の満足度は高いものと感じている。なお、体育館などの体育施設部分については、問い合わせへの対応が迅速に行われていたと考えている。
経費の縮減等の効果（効率性）	
経費の縮減等（経費縮減の具体的な取組、効果等）	
指定管理者による自己評価	経費の中で大きなウェイトとなるのが水光熱費の削減。11月にプール場内の照明器具交換。2月に温水プール内各種施設内のLED化を進め経費の削減を図った。
市の評価	井出山体育施設全体の独立採算制での管理運営であるため、管理者として経費削減に向けた取り組みについては当然なされていると感じている。ただし、利用者サービスの向上に繋がる部分については、採算性のみにとらわれず、利用者目線に立った柔軟な運営がされていたと考えている。
収入の増加（収入増加の具体的な取組、効果等）	
指定管理者による自己評価	収入の増加には会員数の増加による会費収入の増収が重要と思い、入会促進キャンペーンや既存会員からの紹介キャンペーンなどを実施し、会員数の増加に取り組んだ。
市の評価	指定管理者の変更もあり、今期の指定管理開始直後は、TACきらめき部分で利用者数の減少はあったものの、他市町村で行っている指定管理者として経験やノウハウを基に、会員を増やすための様々な取り組みをされた結果、利用者数も増加している。
適正な施設の管理運営（適正性）	
施設の管理運営の状況（適正な人員配置、従業員の能力・資質向上、広報活動、環境行動の取組状況、地域との連携等）	
指定管理者による自己評価	プール休館日を減らしたが、従業員の能力や資質向上のため各種研修を実施。新聞折込チラシやフリーペーパーの広告掲載を実施。地域との連携は近隣小学校・幼稚園のプール授業の会場提供や市体育協会・いこ増ッスルクラブの事業への協力を進めた。
市の評価	年度当初に職員接遇研修を実施。その他、設備研修や救急法訓練（AED含む）、避難訓練を実施されている。また、市主催事業の開催協力、市内総合型地域スポーツクラブなどとの連携についても、前指定管理者から引き継いで実施された。
自主事業の取組（施設の有効活用による市民サービスの向上への効果等）	
指定管理者による自己評価	利用者サービスの一環で各種イベントを実施。運動を始めるきっかけ作りや目的・目標設定のきっかけ作り、利用者同士、利用者と従業員のコミュニケーションを図るなど様々な目的に合わせたイベントを実施した。
市の評価	指定管理期間1年目から、当初提案された自主事業の中で、管理者独自で実施できるものについては早期に実現された。また、オリンピックメダリストを招聘してのスポーツ教室など、市民のスポーツ活動を促進させる事業についても積極的に実施された。なお、当初提案の中で関係機関との調整を要するものについても、社内で検討を始めるなど、10年間の指定期間であるが、早い段階で実現に向けての取り組みがされている。
安全管理、危機管理体制等（個人情報保護、事故発生時の対応、危機管理体制等）	
指定管理者による自己評価	当社は個人情報保護ではプライバシーマークを取得しており、その基準に合わせ個人情報の取り扱いを実施した。また、事故発生に備え各種マニュアルを整備。そのマニュアルの内容が浸透するよう従業員に研修を実施した。
市の評価	スポーツ活動には事故が起こる可能性が高いことや各施設が避難所になっていることから、危機管理マニュアルを作成し、マニュアルに沿って、事故の未然防止や事故が起こった際の対応、また避難所開設時等の対応が適正にされている。また、プライバシーマークを取得されており、自主的により高い保護レベルの個人情報保護マネジメントシステムを確立されていると考える。

サービスの安定的な提供（安定性）	
事業収支（自主事業を含む）の状況（事業収支の妥当性、安定的な事業継続等）	
指定管理者による自己評価	指定管理者変更に伴い、利用者の動揺を避ける為、利用者・会員利用条件を前指定管理者の内容を継続し問題なく運営が出来た。また、会員の個人情報の引継ぎも問題なく移行できた。
市の評価	独立採算制での施設管理となるため、施設の管理運営面では様々な工夫や取り組みをされることと思われるが、TACきらめきの運営を中心に、体育施設部分を含め利用者を第一に考えた施設管理を今後も心掛けてもらいたい。また、安定運営とするため、自主事業などで施設の有効活用を図るとともに、市民のスポーツ活動が促進されるような事業の展開を期待する。

## 6 指定管理者の財務の状況

	平成27年度	平成26年度	平成25年度
資産	3,988,516,329	3,912,546,074	3,755,879,491
流動資産	1,205,067,141	1,253,173,159	1,148,616,132
固定資産	2,783,449,188	2,659,372,915	2,607,263,359
負債	3,776,288,993	3,710,179,094	3,554,656,631
流動負債	504,151,043	336,699,944	148,800,891
固定負債	3,272,137,950	3,373,479,150	3,405,855,740
純資産	212,227,336	202,366,980	201,222,860
資本金	50,000,000	50,000,000	50,000,000
売上高	4,088,601,844	3,861,253,993	3,755,135,575
経常利益	41,870,759	31,739,513	104,606,947

## 7 指定管理者の経営状況（財務・資産関係指標）

	平成27年度	平成26年度	平成25年度
自己資本比率 純資産/資産×100	5.3%	5.2%	5.4%
負債比率 (流動負債+固定負債)/純資産×100	1779.4%	1833.4%	1766.5%
固定比率 固定資産/純資産×100	1311.5%	1314.1%	1295.7%
流動比率 流動資産/流動負債×100	239.0%	372.2%	771.9%
固定長期適合率 固定資産/(純資産+固定負債)×100	79.9%	74.4%	72.3%
総資産回転率 売上高/資産×100	102.5%	98.7%	100.0%
総資産経常利益率 経常利益/資産×100	1.0%	0.8%	2.8%

## 8 総合評価等（今後の業務改善に向けた考え方）

指定管理者による自己評価	前指定管理者から個人情報の引継ぎから始まり、指定管理者として1年目で利用者には様々な形でご意見伺いながら、市民第1の運営を心がけてきた1年でした。しかし、利用人数や売上が目標を下回ったことについては大きく反省をします。この点においては2年目の事業実施事項である、会員種別の変更や料金形態の変更などにより回復をしてみたいと思います。また、市民の更なる健康に対する意識を向上をさせられるよう、ただ単に運動の場の提供にとどまらず、スポーツを始めるきっかけとなるような様々なイベントを実施し、利用者のコミュニケーションが図れ、利用者間の絆が繋がっていく施設を目指していきたいと思っています。
市の評価	今期から指定管理者が変更になったことから、会員が大半を占めるTACきらめきの運営については、色々と危惧する部分もあったが、前指定管理者の協力を得ながら、非常に良い形で引き継ぎ業務が行われたことで、利用者からの苦情等もほぼない状態で初年度を終えられたことは、市としても安堵しているところである。また、初年度から、当初提案の自主事業を積極的に実施するとともに、会員に対する満足度向上イベントも開催された。2年目以降については、当初提案である料金形態の変更などもあり、更なる市民や会員サービスの向上も期待している。また、平群町との施設の相互利用協定を有効に活用し、テニスコートやグラウンド等の体育施設部分の管理運営についても、今後は更に進めてもらいたい。